

アメリカで得たこと

下吉田中学校 田巻 慶治朗

私は、この中学生「姉妹都市派遣団事業」を通してアメリカと日本の文化の違い、英語でのコミュニケーションの仕方を学ぶことができました。

最初の目的、エアフォースアカデミーに行きました。ここは選ばれた人しか入れない空軍士官学校と教えていただきました。今回はあいにく戦闘機を見る事ができなく残念でしたが次に期待したいです。次にコロラド大学に行き、英語でしりとりやクイズ、そしてタイダイ染めなど様々なアクティビティをしました。英語の交流にどきどきしました。その後ホストファミリーと合流し家に向かいました。家の中はとても広く日本の家ではなかなか置いてないビリヤード台や大きなスクリーンなどがありました。

翌日南コロラド日米会のバーベキューパーティーがありました。そこではあやとりを教えたりソーラン節を踊ったりしました。私はあやとりの担当でほうきを作りました。みなさん喜んでくれました。夜は、地元スイッチバックスのサッカーの試合観戦をしました。見事スイッチバックスが勝ちみんなで盛り上がりました。

ホストファミリーデーではマニトースプリングスに行き、ファミリーと湖でカヤックやサップに乗りました。バランスを取るのが難しく湖に落ちてしまいました。とても楽しくホストファミリーと良い思い出ができました。翌日、標高四三〇一Mのパイクスピークに登山電車で行きました。頂上からの景色は絶景、圧倒されました。 ガーデンオブザゴッツにも行きました。とても大きい赤い岩で登るのが大変でした。そこからオリンピックミュージアムにも行きオリンピックの歴史を学びました。コロラドスプリングスは標高が高いので、アスリートを育てる場所としてとても有名である事を知りました。改めてコロラドスプリングスはすごいところだと実感しました。

ホストファミリーと別れの日、寂しさで胸がつまり挨拶ではうまく言葉が出てきませんでした。このような感情は初めてです。アメリカのマイファミリーに感謝したいと思います。

別れの後、コロラドスプリングスからデンバーに移動しミャオウルフを見学しました。現代アートの空間、たくさんのアートと触れ合いました。そして最後の宿泊を楽しみました。

今回の姉妹都市派遣事業では、最初は不安でしたが、会話をすることで不安もなくなり楽しめ、良い思い出となりました。

コロラドスプリングスの人々の人柄や文化そして自然環境を通し多くの学びがありました。良い点を提案し富士吉田の更なる進化に繋がたいとおもいます。